



みなと

みなと 42号 2014年4月1日

兵庫県声の図書赤十字奉仕団

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-4-5

日本赤十字社兵庫県支部内

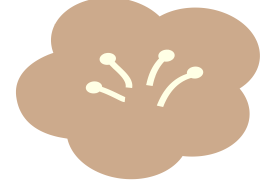
(TEL)078-241-9889 (fax)078-241-6990

代表者 大下 操

編集者 久保田加奈女

赤十字防災ボランティア総合訓練/ひょうご安全の日推進事業

「災害対応力を身につけよう！！」に参加して



平成26年2月16日（日）に（加西市）兵庫県立北条高等学校において、ひょうご安全の日推進事業の一環として「災害対応力を身につけよう！！」が開催されました。地域の防災意識を高め赤十字の災害救援活動への理解を目的にしたこの赤十字防災ボランティア総合訓練では約150人が参加し、声の図書赤十字奉仕団からも4名が参加させていただきました。早朝、8時過ぎに兵庫県支部の駐車場に集合。バスで1時間半ほど走って到着した県立北条高等学校のグラウンドが、雪でぬかるんでいるのではと気になったが霜柱が見られるものの明るい日差しが射して状況は良好。日赤兵庫県支部 藤原雅人事務局長の挨拶でいよいよ行動開始。A 4数枚にわたり詳しく説明された計画表に従ってそれぞれの位置につき役割分担。ワンタッチテントを張り救護所の設営訓練や、大型釜での豚汁の炊き出しの準備。体育館内ではAED（自動体外式除細動器）を活用した心肺蘇生や赤十字救急法のミニ講習会、各種イベントの設置。ボランティアリーダーを中心にしたセンターの立ち上げなどが行われました。私、何年か前に夫婦で参加させていただいた総合訓練ではアルファーマー米に熱湯をそそいでおいしい非常食！に感心した覚えがあります。今回は、気が付くと他の特別奉仕団である無線赤十字奉仕団、写真赤十字奉仕団、救難飛行赤十字奉仕団、安全赤十字奉仕団などがそれぞれの特性を生かして被災者対応の活動を展開しているのは流石でした。天空で寒風を切って受信機を飛ばしているのは無線赤十字奉仕団で、親子連れの来場者に飛行機の飛ばし方を楽しんでいただいているのは、元パイロットの救難飛行赤十字奉仕団でした。そして何よりの驚きは東日本大震災で日本赤十字社兵庫県支部が釜石市の鈴子広場で活動をしていた仮設診療所 d-ERU の大型エアータントがすばやく設置されたことでした。これが東北で仮設診

療所として活躍していたんだとゆっくりと中に入った。たくさんのキャスターの中を見せていただく。このテント1つで病院に代わるほどの医薬品が備えられ、非常時の出産にも対応できるんですよと説明を受けました。

それにしても、阪神・淡路大震災から19年が過ぎ、東日本大震災から3年が経過しました。日赤兵庫県支部の方々をはじめ、地域赤十字奉仕団、赤十字防災ボランティア、この場で訓練に参加したすべての人が、いつ起きるかもしれない災害を想定し力を合わせて活動する総合訓練。私もここに参加できたという満足感に浸っていましたが、訓練最後の夕刻、グラウンド整備や資器材の積み込みまで黙々と労苦を惜しまない日赤職員の方々の姿を拝見しました。これが天変地異を繰り返しながら呼吸をしている地球上で、人々の暮らしを守っている災害対応力と改めて学ばせていただきました。

青年 大下 操

勉強会



朗読・音訳を見直す会

声の図書赤十字奉仕団、朗読・音訳を見直す会では、永田健支先生を迎えて、レポートとインタビューについて2回にわたって勉強会を持ちました。

1回目の勉強会は1月27日、5階会議室にて行い。出席者は55名。

2回目の勉強会は2月28日、7階講習室で行い。出席者は44名でした。

● 1回目は主にレポートについての心構えと対話のテクニックについて

* 私たちの日常体験していることをもとにし、その上で、言葉の意味を考え、ボキャブラリーを豊富にする。

* 言葉は簡潔に、主語・述語をはっきりと、そして修飾語は短くする。

* レポートについては、その為の下調べを念入りにして取材をし、内容が聞き手に伝わるように纏める事が大切。

ということを、わかり易くユーモアいっぱいに話していただきました。



● 2回目はインタビューについて

* 質問事項を仲間（グループメンバーなど）と相談することで多角的な見方で第三者に伝えることができる。

- *時と場所、間合いと相手の反応を見る。
- *目に映ったものを具体的に伝える。
- *よい質問は、長くなく、しゃべりすぎず、相づちもほどほどにする。
- *相手が話さないときでも、慌てず、対応する。待つことも大切。それで?〜と水を向けるなど。
- *視線は少し下げる。睨みつけない。
- *結果を求めないで自然体であれば、思わぬ結果が出ることもある。

などの話のあと、グループ分けをして、質問事項をまとめて先生にインタビューするという試みを行い、池内さん、羽島さん、松井さんのお三方にインタビュアーを務めていただいた。そして、先生の新入社員時代のことなど楽しいお話をたくさん聞かせていただきました。

神戸 YWCA 片山恵

点字勉強会

3月18日(火) ボランティアルームにおいて行われた初級者向け点字勉強会。8グループから13名の参加がありました。

ほとんどの人が点字は初めてということでしたが、参加者の皆さんの集中力はすごく、こちらの質問にもすぐさま反応、理解力もすぐれスムーズに進行することができました。

実技に入ると点字班のサポーター13名も加わり、サポーターと共に一字一字確認しながら点字を打つ人、点字一覧表とにらめっこしながら奮闘する人、それぞれの目が子どものように輝き、あっという間の90分でした。参加者の皆さんに正しく伝えることができたかどうか案じています。

点字が楽しいと少しでも感じてくだされば嬉しい限りです。



優しい先生



集中、集中

学校講習の講師も務めさせていただいて4年目、最初の年は先輩を見よう見真似でしたが、あれもこれも話そうと思っているうちに時間はどんどん過ぎ結果はうまくいかずさんざんでした。

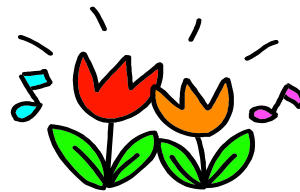
話したいことを話すには慣れることも必要だと痛感しました。

点字班の講師は一人より二人、二人より三人、多いに越したことはありません。私自身も学校講習でサポーターをさせていただいたことが大きな勉強となりました。

講師は思い切ってやれば誰でもできると思います。是非チャレンジしてください。講師が一人でも増えれば点字班の活動も視野も広がります。

あかりの会 阪田輝夫

デイジー班だより



昨年、声の図書奉仕団 50 周年を迎えましたが、その中でデイジー班は最も新参者で、まだまだ発展途上で未熟者です。

それ故、迷惑もかけつつ、支部から多大のご助力を頂き、団員の皆様に協力して頂いて、やっと H.26 年度もまた新しい一歩が踏み出せます。

デイジー班で編集・作成CD「日赤声のアルバム」を発行して7年目を迎えます。

リスナーさんのご利用は、2008年6月の27名から2014年3月現在で197名（停止中・テープへ変更者を除く）の登録となりました。

月刊「日赤声のアルバム」173部と単行図書CD123作品を聴いて頂いています。

☆ 通年のデイジー班の目標である「皆さんが作られた楽しい図書を、より良い音で聴いて頂く」は着実に進んだと自負しても良いと思います。そしてこれは、今後も一層精進していかなければならないことです。

「朗読講習会」や「子どもたちへのメッセージ集」など奉仕団全体が関わることの録音・編集・CD作成のお手伝いも今後も続くと思います。

☆ 機材に関して、2013年度はあまり大きな変化はありませんでした。

これまでに支部・奉仕団で沢山買って頂いた機材（パソコン9、プリンター1、CDコピー機4、再生専用機4、オーディオキャプチャー5、他 etc.）を出来るだけ丁寧に、長く使っていきたいと思っています。これには団員みな様のご協力も大切です。

なお‘14年3月には、単行図書専用パソコンとプリンター、CDコピー機等の設置場が変わりました。

☆ そうした中から、3月の定例会議で「リスナーさんからのお便りがテープの時より少なくなっているのが気がかり…」という意見が出て、今後その対策・方法を考えてゆきたいと思っています。

これにはデージー班のみならず皆さんにも関わって頂き、リスナーの意見がより多く聞かれる図書を目指したいものです。

以上、新年度へ向けての‘13年度のまとめ等、感想を書いてみました。

団員の皆様にはデジタル録音にもすっかり馴染んで頂いたので、さらに意欲的な方には、音楽とのミキシングや図書の編集法も身につけて下さると、デジタル図書作成の面白さがもっと体感できると思います。自分だけの図書も自由自在に作れます。希望される方にはいつでも対応いたしますので、どうぞよろしくお願いします。

青年 直田花子

点 字 班

今年度は役員2年目で学校講習の連絡係をしました。支部の大宅主事から学校講習の依頼があると、対象学年や生徒数、希望内容をお聞きし、早速、運営委員さんを通じて団員の皆さんに声かけをお願いしました。また、ガイドヘルプや点字講習など内容に応じて、講師をしていただく方を募り、交通手段を確認し参加者に連絡しました。皆さん、いつも快く引き受けてくださり助かります。この場をお借りして御礼申し上げます。

今年度は昨年比べて点字講習の依頼が少なく、点字班のメンバーからも「寂しいわね」との声もありましたが、50周年行事・「こどもたちへのメッセージ集」の準備もあり慌しく過ぎて行きました。例会は毎月第3火曜日ですが、午前中の作業時間は、黙々と自分の仕事をこなされています。「こどもたちへのメッセージ集」の点字印刷時は、例会以外にも日赤に行き、ひたすら作業をする日々です。中には時間を作って自宅でメッセージカードや「日赤兵庫声の図書」のタックシールを打ってこられるメンバーもいます。本当に点字が好きなんだなあと、頭が下がる思いです。

学校講習は子どもたちの反応が毎回違い、新鮮でマンネリ化することはありません。後日、子どもたちからイラスト付きの感想文が届くと、とてもうれしく、参加してよかったと思う瞬間でもあり、次回への反省の瞬間でもあります。もちろん短い時間で点字が解るわけではありませんが、少しでも興味を持ってもらい、視覚障害の方にとどまらず困った人がいたら自然に手を差し伸べられる大人になってほしいと願っています。

今回の団員向けの講習で少しでも関心をもっていただき、声の図書のテープ・CDのケースラベルを無理なく読める一助になればと思います。これからも、宜しくお願いします。

はあもにい 久保田 加奈女

《単行図書検討会》

平成25年度 単行図書の貸し出し状況をお知らせします。(H25年3月1日～H26年2月28日)

☆新刊登録は、16冊です。

内訳は、

・リスナーさんからのリクエスト本	6冊
・推薦本	4冊
・自薦本	4冊
・プライベート本	2冊

です。

☆貸し出しは、297冊です。

内訳は、

・テープ図書	64冊
・デイジー図書	233冊

です。

平成24年度は、デイジー図書がテープ図書の2倍でしたが、平成25年度は4倍近くになりました。

さらにデイジー図書利用者が、増えるのかどうか見ていきたいと思えます。

16冊の単行本制作に携わってくださった方々 本当にありがとうございました。

朗読 校正 編集と多くの時間を費して やっとできあがった16冊です。一人でも多くのリスナーさんに聴いて頂きたいという思いを強くしております。

貸し出し数を増やすためにも 話題の本、魅力ある本を推薦本に取り上げていくつもりです。

推薦本、リクエスト本の朗読者を募っております。単行本録音が、初めての方も大歓迎です。毎月の単行通信をご覧になって読んでみようと思われましたらお申し出ください。この本を読みたいという自薦本の方ももちろん お待ちしております。

それから、テープ図書の整理に伴い テープ版単行目録が変わりました。4月から 改訂版目録テープの貸し出しを行います。このことをテープ利用者へのお知らせとして「花時計」でお伝えください。お知らせの原稿を担当グループのメールボックスに入れておきますので宜しく願いいたします。

単行本に関するご意見ご要望がございましたらどんなことでも構いませんのでお寄せ下さいませ。

今年度も宜しく願いいたします。

ことばの花束 山田嘉代子



朗読・音訳を見直す会では、朗読・音訳に必要と思われることを発信しています。今回は、漢字の読み方です。

皆さんにお渡ししました「録音図書製作マニュアル」のP3に記載していますが、しゅっせい[出生]→しゅっしょう きょうそん[共存]（キョウゾンとも）辞書にこのように記されている場合、それぞれ“しゅっしょう”“きょうそん”と読んでください。

いくつか例を挙げます

- * 「容体・容態」①ようだい ②ようたい
- * 「刺客」①しかく ②しきやく
- * 「慮る」①おもんばかり ②おもんばかり
- * 「現存」①げんそん ②げんぞん
- * 「御用達」①ごようたし ②ごようたつ

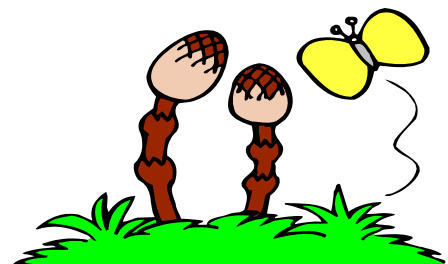
朗読・音訳をする時は、番号①で読むようにしてください。

校正の場合は、「読み直さなくてよいが、番号①の読み方がベターである」と指摘してください。

読み方についての疑問質問提案がありましたら、見直す会のレターボックスにご提出ください。

見直す会で検討してゆき、まとめます。これからも、魅力ある資料を作っていきますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

こすもす 池内 早苗



リスナーお便りコーナー



長年に亘り、ご支援ありがとうございます。
デイジーが来たよと声をかけ電源をいれてやると、自分で操作して皆様のなつかしいお声を聞きっています。
今年も残り少なくなってきましたが、皆様お元気で幸多き年を迎えられます事をお祈り致します。

平成25年12月22日

小島艶子さんから

昨年はお世話になりました、ありがとうございました。
本年も、どうかよろしく願い申し上げます。昨年の流行語大賞は「O MO TE NA SHI」でしたね。又、昨年の今年の漢字は「輪(わ)」でしたね。
今年は、皆様にとって良い年でありますようお祈り申し上げます。
今年最初の「花時計」は、南アフリカのマリンバの紹介でした。ただ、音質が悪かったので、聞き取りにくかったですね。

平成26年1月15日

松本 民雄さんから



丁寧に聴いていただき、ありがとうございます

.....

デイジー図書『声のアルバム』の利用者が増え、楽しんで聴いていただいております嬉しい限りです。デイジー班だよりもありましたように、テープのように感想を録音することができないため、以前に比べて感想を寄せにくいことがとても残念です。先日グループの対面朗読で、「テープやデイジーとは声の印象が違うね」「名前はわからなくても、この番組は、あの人の声かしらと思いつつ聞いています」というお声をいただきました。別の方法で感想をいただけるとよいのですが、アイデアをお寄せください。

(久保田)

花時計プログラム

花時計 12月号

こすもす

A面

挨拶と内容紹介

本村

- ・新美南吉特集 てぶくろをかいに (鹿野)
でんでんむしのかなしみ (神坂)
- ・暮らしの手帖より「年末年始お年玉」(富田)

B面

- ・旅便り～南フランスセーヌ河の旅 (河合)
- ・風退治は多酒多様 (松井)
- ・野の花だより 365日より「野茨」(知福)
- ・新しい単行図書のご案内
- ・お知らせ・おたよりコーナー・挨拶

花時計 2014年1月号

ともしび

A面

・インタビュー

中桐美齡

- ・南アフリカ共和国 マリンバ・ジェンベ
奏者 ジョセク ニユツ

B面

・インタビュー

大林千秋

- ・2013年11月17日神戸マラソンを完走したリスナーの浜田美智子さん
- ・2013年11月23日
第24回交流会の報告
レポーター 永井万里子

花時計 2月号

ことばの花束

ナレーター

古川直子

A面

- ・節分と豆 心の鬼を豆で追う
- ・ソチ冬季オリンピック・パラリンピックについて
- ・リニューアルした JR 摂津本山駅

B面

- ・松花堂弁当のなぞ
- ・絵本の広場「ぐりとぐら」誕生から 50年
- ・エッセー 山川静夫著 「言魂」
- ・新しいデイジー単行図書のご案内
- ・お知らせ
- ・終わりの挨拶

花時計 3月号

はあもにい

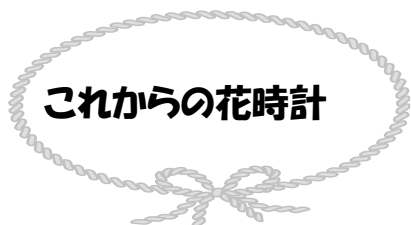
A面

- ・始めの挨拶と内容紹介 (福井)
- ・はるかのはまわりがつかないだ絆 (羽島
久保田・友松)
- ・旬の鯛を使ったお料理 (川上)
- ・デイジー単行図書新刊のご案内 (柚本)

B面

- ・和食ってなんだろう (阿部)
- ・ウルトラトレイル・デュ・モンブラン
参戦記 (山木・宮本・山本)
- ・星新一 「未来いそっぷ」より
「健康な犬」(友松)
- ・お便りのご紹介
- ・終わりの挨拶



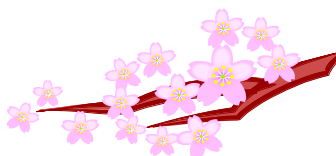


これからの花時計

2014年 花時計担当月

4月号	神戸YWCA	9月号	はあもにい
5月号	こすもす	10月号	神戸YWCA
6月号	あかりの会	11月号	こすもす
7月号	ともしび	12月号	あかりの会
8月号	ことばの花束		

平成26年度年次総会のご案内



日時 2014年 4月19日(土) 10:00～11:30(受け付け9:30)

会場 日本赤十字社兵庫県支部7階大会議室

総会終了後 11:30～ 懇親会を行います

平成25年度の活動を振り返り、新しい年度の展望を皆様と考える大切な機会です。ご出席よろしく
お願いいたします。懇親会では軽食の用意があります。